

IV. 臨床研修の目標・方略・評価

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

<行動目標>

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

<方略>

- ・院内講演会「コンプライアンス」に参加し、守秘義務について理解する。
- ・臨床倫理コンサルテーションチーム(ECT)主催のカンファレンスに輪番で出席し、発表する。
また、随時開催される講演会にも参加する。
- ・モーニングセミナーにて当該のセミナーに積極的に参画する。
- ・病棟や外来業務の中で、患者に対して、プライバシー、守秘義務、人間の尊厳に配慮した接遇を
実践する。